

日本動物看護学会第46回例会 開催報告

開催日時：2017年3月12日(日) 13時～18時

開催場所：NKビル 大阪市獣医師会セミナーホール (小)

代表幹事：並木 まどか

13:00～14:20 第1部【 学会発表、その前に 】

講師 神田鉄平氏 (倉敷芸術科学大学動物生命科学科 准教授)

- 「学会発表の種類」 学会とは何か、類似した性質を持つ行事との違い
- 「演者の役割と注意事項」 演者の身だしなみ、姿勢、挨拶、スライド作成のコツ
- 「座長の役割と注意事項」 座長に求められる役割や現在のトレンド
- 「質疑応答のすすめ方」 質問される側とする側が注意すべきこと

14:30～16:00 第2部【 ディスカッション ～事例報告とは何か？どうまとめるべきか？～ 】

- 参加者二名による看護事例報告発表
- ディスカッション
 - 「獣医師の言う症例報告との違い」
 - 「ヒトの事例報告とは？そのまま持ち込めるのか」
 - 「自分たちはどう報告すべきか」

16:10～17:30 第3部 【 研究経過報告2名 】

参加者の声

- 『学会発表の講義では、見よう見まねで理解していた部分を講義の形で聴いて、疑問に思っていたことを質問出来て大変有意義な時間となりました。』
- 『看護事例報告で獣医師の症例報告との違いを考える過程で、改めて看護とは飼い主を含めたものだと認識しました。』
- 『全体を通して、より良い看護の発展や提供のために、学会発表と論文投稿をしたいというモチベーションが上がりました。』
- 『今まで学会等の一般演題で、正直難しくて質問の1つも言えなかったのですが、勉強会に参加させていただいたことで発表者の言いたいことは何なのか、どこに焦点を合わせているのかなど、聞く方もポイントを押さえていけばいいのだと気づかされました。今まではただただすごいなあと聞いていた発表も、また違うとらえ方が出来そうです。(初参加の方)』

